2023年 6月 6日

2022年度　事業報告
社会福祉法人　せいざん福祉会

1．**2022**年度　事業報告の概要

- 業績等
  - 収益
    - 全体の収益は稼働率アップや加算の通年算定及びベースアップ等支援加算の新規算定により、前年度比で2.2%増加した。
  - 稼働率
    - 入所系サービスは近隣施設がコロナクラスターでショートの受け入れを止めていた時期が長く、ショートの割合が増えたが、合計して昨年度と同様に目標の98%以上を達成できた。
    - 通所系サービスは、コロナ感染症によるクラスターが2度起こったこともあり、2年連続稼働率が低調に終わってしまった。
    - 居宅介護支援事業所は、ケアマネジャー4名体制を安定してとれるようになり、新たな加算（特定事業所加算Ⅱ）を取得し、件数も増えた。
- サービスの質
  - コロナ感染症に注意しながらも、QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動を実施することができた。ご利用者の状態の維持向上につなげた加算（ADL維持加算）をデイ・特養共に算定できることになった。

- 人材の確保、育成
  - 各部署ごとに責任者をきめ、それぞれの責任者を軸に部署ごとに互いに協力しながら人材育成、質の向上を図った。
  - 介護部門の新たな役職者の育成は思うように実施できなかった。
  - 委員会活動の活発化や育成体制の充実・体系化に努めていく。
  - 研修の実施
    - 集団での研修が難しく、Eラーニング主体の研修となった。

- 地域貢献活動
  - 新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加や実施が減ったものの、実習生の受け入れや高校への講師派遣の拡充など新たな取り組みもできた。ま

た、地区のリサイクル活動への協力も継続的にできた。

- 新型コロナウイルスへの対応
  - 感染対策の徹底、研修の実施、正確な情報の周知をすることで、クラスター感染拡大を防ぐことができた。
- 新型コロナウイルス感染症に関する補助金
  - 両立支援等助成金
  - 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

- 物価高騰・水光熱費高騰に関する補助金
  - 社会福祉施設等原油価格・物価高騰対策支援金
  - 国の節電プログラム促進事業（国参加特典　関西電力）

2. 運営状況（稼働率、利用者数）

※（　）の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養（稼働率）

事業所名	2021年度	2022年度
ケアホーム三浦（入所）【100名】 （ｼｮｰﾄ）【20名】 合計	98.2% 102.1% 98.8%	98.6%（＋0.4%） 99.8%（▲3.3%） 98.8%（0%）

- 通所介護（延べ人数／月）

事業所名	2021年度	2022年度
平成デイサービスセンター三浦【28名】	563人	515人（▲48人）

- 居宅（年間延べケアプラン数）

事業所名	2021年度	2022年度
ケアホーム三浦居宅介護事業所	825件	1,223件（+398件）